PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
2025 年 1 月 9 日

これまでに 5 万人以上が派遣！累計 99 ヵ国の課題解決に貢献

多種多様性を虹色の架け橋として表現した記念ロゴも決定

JICA 海外協力隊　発足 60 周年

～「世界と日本を変える力」～

＜周年特設サイト URL＞https://www.jica.go.jp/volunteer/60th/

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助（ODA）実施機関として開発途上国への国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、本部所在地：東京都千代田区、以下：JICA）は、1965 年にラオスへの 5 人の青年海外協力隊員の派遣から始まったJICA海外協力隊事業が本年60周年を迎えることをお知らせします。60 年の間に延べ派遣国は 99 か国、累積派遣人数は 57,000 人を超えました。

■虹色の架け橋で日本と途上国との協力関係を表現　60 周年記念ロゴの決定

JICA 青年海外協力隊事務局では 2025 年を 60 周年記念イヤーと位置づけ、「世界と日本を変える力」をテーマに 1 年かけて周年事業を実施いたします。そのシンボルともなる 60 周年記念ロゴが以下のとおり決まりました。今回のロゴ作成にあたり、美術、デザイン、服飾といった職種で派遣された帰国隊員や現役隊員から応募を募り、JICA 内での投票の結果、山根文子さんの作品に決定しました。

山根さんの作品タイトルは「日本と開発途上国をむすぶ架け橋」。開発途上国発展のための JICA 海外協力隊の多種多様性を虹色の架け橋として表現し、日本と途上国との協力関係を表現されています。

【制作者ご紹介】

山根文子さん

広告業界でのデザイナーとしての経験が活かせると思ったことが、JICA 海外協力隊に興味をもったきっかけ。2016 年にアルゼンチン、2019 年にザンビアで、それぞれデザインの職種で短期隊員として活動。2020 年には 3 か月間マーシャルで活動。

今回の受賞の知らせを受け、山根さんからは「マーシャルでは 1 年活動する予定だったので、今までよりも計画的に進められると楽しみにしていたのですが、コロナ禍のため 3 か月足らずで帰国となりました。意気込みが強かった分、この数年は消化不良のまま過ごしてきましたが、今回ロゴ制作に参加させていただき、ボランティア経験を少し還元できたのかなと嬉しく思っています」とコメントをいただいています。

■“支援”するだけではない　60 年に及ぶ助け合いが「日本と世界を変える」
**　2025 年は 60 周年記念各種企画を実施予定！**

当初から変わらない「現地の人とともに」という姿勢で続けられた本事業で隊員は派遣国を知り、現地の人は日本を知り、お互いに学びあってきました。そのような人と人とのつながりから、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災では、隊員を通して日本を知った多くの途上国の人たちから支援が寄せられました。協力隊員は派遣先で多くの人たちに助けられ活動を進めることで、途上国を知り、日本を認識し直します。そして日本に戻り、改めて世界や日本の課題に目を向け、解決に向けて取り組み始める方々も多いのです。互いを知り、互いを理解することで人同士のつながりができ、学び合いの中で育まれる「世界と日本を変える力」。現地の人々や隊員一人一人の力は小さくても、彼らの活動は世界と日本を変える力につながっています。

JICA 青年海外協力隊事務局では 2025 年の 60 周年イヤーを通じて、JICA 海外協力隊の歴史のなかで培われてきた「世界と日本を変える力」をお伝えしていく予定です。
2 月にはこれまでの海外協力隊の活動をまとめてご紹介する動画のリリース、4 月には社会還元賞の発表、6 月には還元賞表彰式と大賞の発表、11 月には海外協力隊 60 周年記念式典を予定しております。※詳細は追ってご案内いたします。

JICA 海外協力隊 60 周年に関連した情報については、以下のとおり 60 周年特設サイトを開設し、随時掲載していきます！
特設サイト：https://www.jica.go.jp/volunteer/60th/

■独立行政法人国際協力機構（JICA）について
JICA は、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150 以上の国と地域で事業を展開しています。
国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。
詳しくは https://www.jica.go.jp/index.html をご覧ください。